

令和 6 年度事業報告

公益財団法人調布ゆうあい福祉公社

目次

1	公社の現状	1
2	令和6年度の振り返り	1
(1)	法人運営	1
(2)	事業運営	3
ア	地域共生社会の実現，孤立・孤独防止	3
イ	ケアラー（介護者）支援	3
ウ	認知症支援	3
エ	フレイル・介護予防支援	3
3	実施事業	4
(1)	住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充	4
ア	有償在宅福祉サービス事業	4
イ	生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	8
ウ	在宅福祉サービスに関する相談事業	9
(2)	認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援－	10
ア	認知症サポーター事業	10
イ	ケアラー（介護者）支援事業	10
(3)	フォーマルサービスの充実	14
ア	調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業	14
イ	調布市入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぼあん事業	16
ウ	調布市地域包括支援センターゆうあい事業	17
(4)	介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進	23
ア	訪問介護事業	23
イ	居宅介護支援事業／介護保険要介護認定調査事業	25
(5)	公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進	25
ア	普及啓発事業／人材育成事業	25
イ	調査研究開発事業	31
(6)	健全な公社運営	31
ア	法人運営及び組織体制の強化・充実	31
イ	自主的，自立的経営に向けた財政基盤の強化	34
4	その他の報告事項	35
(1)	役員等及び会議に関する事項	35
ア	役員等名簿	35
イ	会議の開催	35
(2)	公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績	38
ア	公社外部委員会等一覧表	38
イ	実習生受入実績	39
(3)	職員研修の実績	39
ア	業務研修	39
イ	社内研修	43
(4)	事業報告書附属明細書について	43

1 公社の現状

令和6年度は、第3次中期計画の初年度として、「市民相互の助け合いとあたたかい地域づくり」という公社の理念に基づき、①地域共生社会の実現、孤立・孤独防止、②ケアラー（介護者）支援、③認知症支援、④フレイル・介護予防支援の4項目を重点に据え、事業運営に取り組みました。

公社の中核事業である、住民参加型事業においては、協力会員（有償ボランティア）の方々の高齢化や新たな人員の確保が長年の課題となっており、安定した事業運営を行うための体制の再構築やサービスの見直しについて検討を進めていく必要があります。そのような中ではありますが、令和6年度は協力会員の数が前年度よりおよそ30人増加し、総数は約250人となりました。これは、日頃から職員が地道に取り組んできた会員募集活動の成果であり、今後も引き続き、住民参加活動の維持・発展に努めてまいります。

デイサービス事業においては、令和6年度から調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業を再編し、「認知症対応型通所介護」と「総合事業通所型サービス（市基準）」の2事業に集約するとともに、入間町地域密着型認知症デイサービス「ぷちぽあん」の事業主体を調布市に変更するなど、公社としては介護保険制度創設以降、初めてとなる大きな事業再編を実施いたしました。いずれも、関係機関との連携のもと、特段の混乱もなく円滑に移行することができました。

また、収支均衡が懸念された、自主事業についても、居宅介護支援事業の業績の改善が見られ、直近では収支も安定してきています。現行の職員体制が維持されれば、令和7年度以降も収支均衡が見込める状況です。

なお、令和7年度に向けての主な課題としては、①デイサービス事業のプログラム内容の充実と稼働率のさらなる向上、②介護や相談を担う職員の確保、③住民参加型事業を支える協力会員（有償ボランティア）の確保の3点であり、引き続き事業改善に向けて注力してまいります。

2 令和6年度の振り返り

（1）法人運営

令和6年度は、年度で計画をしていた事業やイベントは、おおむね円滑に進展し、計画していた目標値については、コロナ禍以前の水準を上回る実績も見られ、良好な成果を挙げることができました。

年度を振り返ると、令和5年度末から令和6年度当初にかけ、職員の退職により欠員が生じたものの、体制を工夫しながら安定した事業運営に努めました。

住民参加型事業の、とりわけ食事サービス事業については、公社の看板事業として、手づくりの食事をお届けする地域に根差したサービスとして、現在も、多くの方々にご利用いただくとともに、待機者もいらっしゃる状況です。住民同士の支え合いにより成り立つこの仕組みは、「あたたかい地域づくり」の象徴とも言えるものであり、地域の絆を育む貴重な場でもあります。

食事サービス事業では、調理と配達を担う協力会員が、年中無休で昼・夕の一日2回、心を込めてお食事を届けています。市民の皆様がこうした活動に関わることは、単なる

支援にとどまらず、地域の中で役割を持ち、つながりを感じる機会ともなっており、生きがいや社会参加にもつながっています。

現在、協力会員の高齢化や新たな担い手の確保という課題もありますが、それでも地域に貢献したいという思いで、多くの方が事業を支えてくださっています。公社では、定期的な意見交換を通じて、無理なく継続できる仕組みづくりや活動しやすい環境の整備に取り組んでいるところです。

今後において、物価上昇を踏まえたサービス価格の見直しや、サービス提供体制など、持続可能な運営に向けた検討を引き続き進めていきます。

令和6年度、公社では、フレイル・介護予防支援や認知症支援をより一層強化していくため、調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業の再編を行い、①認知症対応型通所介護、②総合事業通所型サービス（市基準）の2事業に集約いたしました。再編当初は、両事業ともに利用者数が目標を下回る厳しい状況が続きましたが、後半期には市内の地域包括支援センター等に働きかけるなど、積極的な営業活動を行った結果、稼働率・利用者数ともに改善が見られました。しかしながら、年度全体の実績としては目標値には届かず、引き続き改善が必要な課題と認識しています。

また、入間町地域密着型認知症デイサービス「ぷちぼあん」については、事業主体が調布市に変更されました。事業内容に変更はありませんでしたが、新たに土曜日が開設日に加わるなど、稼働日を拡充しサービスの充実を図りました。本事業についても、前半期は稼働率の目標達成に苦戦しましたが、後半期には7割を超える月もあり、着実な改善が見られました。ただし、こちらも通年では目標値の達成には至らず、今後の継続的な取り組みが求められます。

令和7年度は、こうした経験を踏まえ、より積極的な広報・営業活動に取り組むとともに、利用者ニーズに即したプログラムの工夫・改善を行い、事業目標の達成を目指してまいります。

自主事業の収支については、全体として安定した実績を上げることができました。

居宅介護支援事業では、年度の前半期に管理者の交代があり、一時的に体制が不安定となりましたが、後半期には担当職員の尽力により、目標としていた月間130件のケアマネジメント件数を達成するなど、収支の大幅な改善が見られました。単年度ではマイナスとなったものの、直近の収支は安定しており、現行の職員体制が維持できれば、令和7年度においては年間での収支均衡が十分に見込める状況です。

訪問介護事業においては、令和6年度も引き続き「特定事業所加算」を維持し、さらに最上位区分である「処遇改善加算Ⅰ」を新たに取得したことで、介護職員等の処遇改善を一層進めることができました。加えて、職務限定の正規職員を1名増員し、職員体制の強化を図ったほか、医療ニーズの高い利用者への対応として、職員が専門の技術研修を受講し、「喀痰吸引等事業者登録」を行うなど、サービス提供体制の充実にも取り組みました。収支に関しても、利用件数の目標を達成し、事業収支はプラスとなりました。

自主2事業（居宅介護支援事業・訪問介護事業）の総体では、プラス収支の結果で終わることができました。令和7年度は、両事業それぞれが単体でのプラス収支を達成できるよう、引き続き体制の安定とサービスの質の向上に努めてまいります。

職員体制や人員確保においては、通年を通して職員等の欠員が発生し、その補充に苦慮する場面が続きましたが、積極的な採用活動を展開した結果、令和7年度に向けては

概ね人員の充足が見込める状況となっています。

しかしながら、訪問介護や通所介護を担う専門職（相談員・介護職員）の確保については、依然として厳しい状況が続いており、これらの事業を安定的に維持・継続していくためにも、人材の確保は引き続き喫緊かつ重要な課題であると認識しています。

今後も、採用手法の多様化や職場環境の整備、職員の定着支援などに取り組みながら、魅力ある職場づくりを進めてまいります。

（２）事業運営

ア 地域共生社会の実現、孤立・孤独防止

孤立・孤独防止に向け、令和６年度はそれぞれの係で、「あたたかい地域づくり」を目指す事業に取り組みました。

住民参加推進係では、地域包括支援センターゆうあいと協働し、食事サービス事業者連絡会で、「見守り」をテーマに学習会を行いました。市民向け講座のゆうあい福祉セミナーでは、地域における孤立・孤独の課題の一つとして、「発達しょうがい」を取り上げ、啓蒙に努めました。

地域包括支援センター係では、地域で孤立・孤独化する方々を少しでも減らすために、地域の介護保険サービス事業所や金融機関を中心に、「見守り」に関する連携や協働をテーマに出前講座を行いました。

イ ケアラー（介護者）支援

令和６年度は、ケアラー（介護者）に対する認知度と関心の高まりを、実感した年度でした。

例えば、ケアラーサポーター養成講座では、令和５年度は６人であった修了者が、令和６年度は１５人に増えました。ケアラー相談についても、令和５年度の１５件から２１件に増えました。また、相談には至らないものの、問い合わせや情報提供も増えました。特に、ヤングケアラーについては、事業を普及啓発してきた効果もあり、関係機関等からの問い合わせが増えています。

デイサービス係では、家族会の開催を通して、ケアを行うご家族の悩みや思いを共有し、孤立防止に努めました。

ウ 認知症支援

令和６年度は、主に令和５年度末に立ち上がったチームオレンジのサポートに努めました。新たな団体の立ち上げはありませんでしたが、令和７年度に立ち上げを目指す団体の支援も行いました。また、担当職員が、「認知症世界の歩き方」の公認ファシリテーター（旅のガイド）の資格を取得し、地域住民や主任ケアマネジャー等に向け、認知症支援について普及啓発を行いました。

認知症対応型通所介護事業所のデイサービスぷちぼあんについては、事業主体の調布市移行にともない、令和６年度は土曜日も開催し、サービスの拡充に努めました。

エ フレイル・介護予防支援

令和５年度末に理学療法士（ＰＴ）２名が退職した影響もあり、調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業においては、令和６年度に予定していた事業展開に遅れが生

じましたが、後半期には、人員体制の見通しもついたことから、今後において、プログラム内容の充実等に取り組んでまいります。

総合事業通所型サービス（市基準）については、年度前半期に利用者の確保が難航し、厳しい運営状況が続きました。後半期には、市内の地域包括支援センター等に対して積極的な広報・営業活動を展開した結果、徐々に利用者数・稼働率の回復傾向が見られましたが、通年での計画達成には至りませんでした。また、バスストップについても、利用希望者との調整が難航し、現状では1件のみとなっています。引き続きニーズを把握しながら、バスストップの拡充に向けた検討を続けてまいります。

この他、令和6年度福祉講演会において本テーマを取り上げ、市民の皆様へ広く普及啓発を図りました。

3 実施事業

(1) 住民参加を基盤としたインフォーマルサービスの拡充

ア 有償在宅福祉サービス事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	利用会員数（世帯）	300世帯	307世帯
◎	協力会員数	250人	255人
－	協力会員説明会（定期・随時）	35回	62回
評価等	○利用会員数, 協力会員数, 協力会員説明会ともに目標を達成しました。 ○若年層の協力会員の登録の増加傾向が見られ参加される方の年代は幅広くなってきています。 ○一人でも多くの方に、協力会員活動に興味を持っていただくため、地域で説明会を開催しました。説明会には協力会員も参加して、住民参加型助け合い活動の具体的な内容のほか、魅力ややりがいを伝えました。		

(a) 利用会員の状況

令和6年度末の世帯数は307世帯となり、目標を達成しました。入退会はありませんが、ホームヘルプサービス、食事サービスともに増加しました。特に食事サービスでは、ほぼ全ての枠で常時、待機者がいる状況で、その解消が課題となっています。

(単位：世帯)

区分	令和6年度	入会・退会	増減	令和5年度
高齢者	284(92.5%)	(入会) 136 (退会) 112 (移動) 0	24	260(92.2%)
障害者	12(3.9%)	(入会) 9 (退会) 7	2	10(3.5%)

			(移動) 0		
	病弱者	10 (3.3%)	(入会) 2 (退会) 3	△1	11 (3.9%)
	ひとり親家庭等	1 (0.3%)	(入会) 0 (退会) 0	0	1 (0.4%)
合 計	年度末世帯数	307 (100%)	—	25	282 (100%)
	会員数	379 人	—	31	348 人

(b) 協力会員の状況

令和6年度末の協力会員の登録人数は255人で、目標を達成できました。

市内、隣接市の大学への広報の強化、土日の協力会員説明会の実施回数を増やした結果、大学生や、現役世代の登録が増加しました。新しい年齢層の協力会員の増加に伴い、活動の頻度等も変化が見受けられます。そのような変化に応じマッチングを工夫することで、活動参加の機会を提供することが求められます。引き続き、公社の理念に共鳴し、地域の福祉人材として活躍が期待できる協力会員の確保に努めます。

(令和6年度実績)

区分		協力会員	月平均
入会者		72人	6.0人
退会者		46人	3.83人
令和7年3月末登録者数 (令和6年3月末)		255人 (229人)	—
月末登録者累計人数		2,924人	247.5人
活動者実数(各月合計)		1,789人	149.08人
	ホームヘルプサービス	969人	80.75人
	食事サービス	939人	78.25人
活動率(令和5年度活動率)		61.2%(63.7%)	

※ 活動者実数は、複数の活動に参加する会員もいるため、内訳の合計とは一致しない。

※ 活動率(%) = 活動者実数 ÷ 月末登録者累計人数

(c) ホームヘルプサービス

令和6年度は延べ969人の協力会員が、延べ1,843世帯に対し6,808時間のサービスを提供しました。令和5年度に比べ、利用世帯数は増加した一方で、利用回数、時間数ともに約4%減少しました。利用者の内訳では、高齢者が約5%減少し、とりわけ高齢同居の世帯が約10%と減少しました。

利用世帯数、協力会員が増加している一方で、利用回数や時間数が減少した要因としては、協力会員が活動可能な日数や時間数が減少していることや利用者のニーズが変化していることが考えられます。変化するニーズの把握と即応したコーディネート工夫が求められます。

(対象者別利用時間数及び回数)

区分			令和6年度		令和5年度	
			合計	月平均	合計	月平均
利用者数			1, 843世帯	153. 6世帯	1, 828世帯	152. 3世帯
利用回数			5, 421回	451. 8回	5, 594回	466. 2回
高 齢 者	総 数		5, 919. 0時間	493. 3時間	6, 203. 0時間	516. 9時間
		単身	2, 579. 0時間	214. 9時間	2, 702. 0時間	225. 2時間
		夫婦	1, 566. 5時間	130. 5 時間	1, 550. 0時間	129. 2 時間
		同居	1, 773. 5時間	147. 8 時間	1, 951. 0時間	162. 6 時間
障害者			553. 0時間	46. 1時間	540. 5時間	45. 0時間
病弱者			336. 0時間	28. 0時間	334. 5時間	27. 9時間
ひとり親家庭等			0. 0時間	0. 0時間	0時間	0時間
利用時間 計			6, 808. 0時間	567. 3時間	7, 078. 0時間	589. 8時間

(d) 食事サービス

食事サービスでは、毎月およそ80人の協力会員が定期的に活動し、利用会員に手作りの食事を届けています。

令和6年度は、デイサービスも含め38,332食を提供しました。令和5年度と比較し、約4%減少しました。これは、デイサービスの事業内容変更に伴い、食事提供を一部中止したためです。会員配食に関しては、微増となりました。

一方で、事業を支える協力会員については、とりわけ調理部門での高齢化や人手不足が深刻です。定期的な会員登録説明会の開催や、SNSでの案内の発信、近隣大学、郵便局等へのチラシの設置などの広報にも尽力し、令和6年度は延べ55人の方が食事サービスの新人研修を受けました。しかし、調理部門を希望する方が少なく、新たに調理員を採用しましたが、現に調理で活動中の協力会員の高齢化を思慮すると、「年中無休」という体制の維持が困難になりつつあります。

また、市内の配食事業者と食事サービス事業者連絡会を開催し、配達の困難事例等の課題を共有しました。中でも見守りの大切さと安否確認の必要性に関して、地域包括支援センターと協働する大切さを再確認しました。

食事サービス利用状況

区分		令和6年度		令和5年度	
		延べ合計	月平均	延べ合計	月平均
会員利用者数		2,167人	180.6人	2,006人	167.2人
利用総食数		38,332食	3,194.3食	40,083食	3,340.3食
	会員配食	33,884食	2,823.7食	33,764食	2,813.7食
	国領通所	1,948食	162.3食	4,047食	337.3食
	ぷちぽあん	2,282食	190.2食	1,996食	166.3食
	その他	218食	18.2食	276食	23食

食事サービス週当たり利用日数／各年度3月利用者 (単位：世帯)

区分		週1	週2	週3	週4	週5	週6	週7	合計
昼食	令和6年度	8	13	3	5	3	3	2	37
	令和5年度	6	16	5	6	2	1	4	40
夕食	令和6年度	11	25	10	8	6	10	17	87
	令和5年度	17	23	14	6	6	8	18	92
昼夕食	令和6年度	1	2	6	1	1	1	8	20
	令和5年度	0	0	3	2	0	2	8	15
合計	令和6年度	20	40	19	14	10	14	27	144
	令和5年度	23	39	22	14	8	11	30	147

食事サービス月当たり利用者区分／各年度3月利用者 (会員)

区分		令和6年度		令和5年度	
		世帯数	人数	世帯数	人数
高齢者	単身	71世帯	71人	73世帯	73人
	夫婦	31世帯	49人	30世帯	46人
	同居	35世帯	49人	37世帯	47人
障害者		2世帯	1人	1世帯	1人
病弱者		4世帯	5人	5世帯	6人
ひとり親家庭等		1世帯	5人	1世帯	3人
合計		144世帯	180人	147世帯	176人

※各区分の人数は世帯員等の内3月食事サービス利用者

(e) 福祉施設へのサービス提供（食事サービス）

デイサービスぷちぽあん及び調布市国領高齢者在宅サービスセンター，並びに子ども家庭支援センターすこやかの利用者に，食事を提供しています。

(f) 会員交流事業

公社の各会員（利用・協力・賛助）を対象に，ハワイアンバンド「キパフル」の演奏会を開催しました。20人が参加し，交流を深めました。

(g) 会員慶弔

利用会員の誕生日に会員宅を訪問し，ミニブーケを届けました。逝去に際しては，弔電を送りました。

イ 生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	登録ボランティア数	130人	143人
ー	利用件数	140件	94件
評価等	○ちょっとしたお困りごとに対して支援している市内の他団体と連携を図り，ニーズに対しより細やかに対応したサービスの充実・拡大を図りました。 ○生活支援コーディネート事業の周知・広報のために，A5サイズの新たなチラシを作製し，ソーシャルワーカーによる広報やポスティング等を積極的に行いました。 ○登録ボランティアは協力会員説明会時に併せて，事業説明を行いました。 ○昨年度と比較して，利用件数が減少していますが，市内で同様の活動をする団体が立ち上がっていることも要因と考えられるため，そのような団体と連携しながら今後事業を進めていきます。		

公社の職員（ソーシャルワーカー）が，ひとり暮らし等で生活のちょっとした困りごと（蛍光灯，電球等の交換・荷物の上げ下ろし・ボタン電池等の交換など）を抱えた高齢者からの相談を受け，登録ボランティアにつなげ，問題を解決します。

専門職（ソーシャルワーカー）が窓口になることで，「ちょっとした困りごと」の解消だけでなく，高齢世帯の孤立防止やソフトな見守り等の支援にもつながると考えています。

相談を受け，「ちょこっとさん」での解決が難しいと判断した場合でも，他の制度・方法に関する情報を提供しました。

本事業を，住民参加型の手法で実施することで，地域社会のつながり活性化の一助にしたいと考えています。引き続き，事業拡大に努めます。

事業名	実施内容	利用件数，参加者数等
生活支援コーディネート事業「ちょこっとさん」	30分程度でできる「ちょこっとした」お手伝いをソーシャルワーカーが登録ボランティアをコーディネートして困りごとを解決	相談件数：134件（うち新規62件） 利用件数：94件（うち新規33件） 他機関へ繋げた件数：14件 登録ボランティア：143人 ※登録ボランティア説明会は，協力会員説明会と合同開催

ウ 在宅福祉サービスに関する相談事業

重点項目	項目	目標値 令和6年度	実績
—	受付窓口（電話，来所，訪問，SNS等）対応の充実	SNSやオンラインによる相談の充実	オンラインコードや，フォームの設置，活用等
評価等	○相談面接技術向上のため，より適正な相談対応ができるように社内研修の実施や外部研修の受講を積極的行いました。		

公社では，高齢者を中心に，障害者，病弱者及びひとり親家庭等の方々の総合相談の窓口として，様々な相談を受けています。

受け付けた相談については，職員（ソーシャルワーカー）が，様々な手法で問題解決に向けた支援を行っています。相談の内容は，在宅福祉サービスに関するものが中心ですが，最近では徐々に，その範囲も広がっています。昨年度から始まったケアラー相談支援では全戸配布したケアラー支援マップに相談先を掲載したことでケアラー当事者から相談を受けることが多くなりました。

また，医師並びに弁護士による相談事業については，個人に限らず市内事業所の専門職等にも門戸を広げています。

事業名		令和6年度	令和5年度	備考
在宅福祉サービスに関する生活相談	電話	5,306件	4,831件	ソーシャルワーカーによる相談
	来所	141件	149件	
	訪問	1,289件	1,269件	
	その他※	1,163件	1,008件	
	計	7,899件	7,257件	
ケアラー相談支援		21件	15件	ソーシャルワーカーによる相談
医師による健康相談	内科	7件	5件	医師による相談
	精神科	12件	8件	
弁護士による法律相談		9件	10件	弁護士による相談
福祉用具などの相談，貸出，紹介		205件	181件	貸出件数

総合計	8,153件	7,476件	
-----	--------	--------	--

※ 電話・来所・訪問の分類に入らない手段（事業利用時・メール等）での相談。

（２）認知症施策の推進－認知症当事者とその家族への支援－

ア 認知症サポーター事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
－	認知症サポーター数	1,000人以上	1,458人
－	認知症サポーターステップアップ講座	2回	2回
評価等	○認知症サポーターを市内に広げ、普及啓発を進めました。学校や企業等未開催の団体については、地域包括支援センターと連携を図りながら呼びかけを行い、新規の開催をすることができました。 ○認知症当事者やそのご家族と共に活動できる人材を掘り起こすため、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、昨年度を上回る人数の認知症サポーターの参加がありました。		

認知症サポーターの人数については、認知症になっても、安心して暮らし続けられるまちを目指し、地域の自治会や企業、学校など幅広い世代に働きかけ、目標を上回る実績をあげました。

複数の「調布市版チームオレンジ」を立ち上げるために、認知症サポーターステップアップ講座を開催するとともに、活動団体の支援を行いました。

認知症サポーター向けの施設見学会については、市内の地域密着型通所介護施設を活用して実施しました。

事業名及び内容		回数	参加者数
認知症サポーター養成講座	地域で開催される認知症サポーター養成講座の実施、キャラバン・メイトの調整・派遣	60回	1,458人
認知症サポーターステップアップ講座	認知症当事者、ケアラーの理解を深めるための講義・体験	2回	85人
認知症サポーターの活躍の場リスト	認知症サポーターの活躍の場の情報を更新し、認知症サポーター養成講座受講者に配布	1回	－

イ ケアラー（介護者）支援事業

家族介護者が安心できる居場所の提供や、市内の「家族介護者の居場所」等に関する情報提供、また、有益な介護技術を習得するための講習会を開催するなど、家族介護者の支援を幅広く行いました。

介護する家族が、一息つける居場所を提供するための「だれでもカフェ」は、計画通り毎月1回開催しました。参加者数も、目標を上回る実績をあげました。

家族介護者向けの介護技術講座は、自宅で介護されておられる方からの申し込みが増え、特に民間の専門事業者を招いての講習会には、20人以上の受講者が集まりました。今年度も飛田給地区で開催された車いすの使い方の講習会では、90人の参加があり、それもあって、目標を大幅に上回る実績をあげました。

市内の家族介護者に、最新の居場所等に関する情報を届ける「ケアラー支援マップ」については、情報を更新し、市内全戸に配布しました。

また、ケアラーを支えるグループのために、「ケアラー支援団体の情報交換会」や、「ケアラーサポーター養成講座」などを企画・開催しました。令和6年度の情報交換会では、「みんなで創るケアラー支援」を開催しました。講師は東京都健康長寿医療センター研究員の涌井智子氏に依頼しました。27名が参加し、事例検討等を通して他団体との交流を図りました。ケアラーサポーター養成講座では、全3回の講座に延べ21人の参加者がありました。

「ヤングケアラー・コーディネーター事業」については、2年目となり、普及啓発にも力を入れたことで関係機関からの問い合わせが増えるなど徐々に認知度が上がって来ています。ケースについては所管の子ども家庭支援センターすこやかと連携をしながら事業を進めました。

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	ケアラーサポーター数	15人	15人
—	だれでもカフェ	200人	243人
—	ケアラー向け介護技術講座	10人（出張介護 技術講座含む）	165人
評価等	○ケアラーサポーター養成講座を開催し、目標値の15人の方へ修了証を渡すことができました。 ○だれでもカフェを地域のケアラー等へ周知し、必要な情報提供に努めました。月1回定期的に開催し、認知症当事者・ケアラーの精神的な負担感・孤立感の解消に向けて居場所を提供しました。 ○ケアラーのニーズを把握し、ケアラー向けの介護技術講座を4回開催しました。		

事業名		実施回数	参加者数	備考
だれでもカフェ(認知症カフェ)		月1回 (計12回)	参加者 延べ243人	・だれでもカフェこくりょう(毎月第4日曜日)※ボランティアによる演奏会 外部研修のPR ・だれでもカフェぷちぽあん 荒天のため中止
ケアラー支援マップ		年1回	発行13万部 (内12万8,000部を 市内全域にポスティング, 2,000部 を関係機関に配架等)	・令和7年2月5日(水) 広報紙ゆうあい29号にて第13版を掲載。ケアラーを支えるグループ18件, 相談窓口, 市内の居場所等の情報を掲載
ケアラー向け介護技術講座	ケアラー向け介護技術講座	年4回	165人	・「介護がタニンゴトからジブンゴトになる5つのポイント」開催 令和6年6月19日(水) 参加者24人 ・「体感して学ぶ介護のコツ」開催 令和6年12月22日(日) 参加者7人 ・飛田給地区協議会防災訓練 令和7年3月2日(日) 参加者90人 ・初めて学ぶ自己肯定感 令和7年3月11日(火) 参加者44人
	ホームヘルパー出張派遣(再掲)	随時	相談1件 派遣1件	・ケアマネジャーからの相談に対して状況を確認し, 迅速に派遣しました。

ケアラーを支えるグループの学習会		年2回	71 人	・ケアラー支援団体情報交換会 「みんなで創るケアラー支援」 令和6年10月18日(金) 参加者27人 ・初めて学ぶ自己肯定感 令和7年3月11日(火) 参加者44人(再掲)
ケアラーサポーター養成講座		年1回	21人	・令和7年2月12日(水)・19日(水)・26日(水)(全3回) 参加者21人
ケアラーサポートブック		年1回	発行2,000部	調布市歯科医師会所属の歯科医院や民生委員に配布し啓発を図る。令和7年度更新に向け、検討委員会を立ち上げた。ケアラー支援団体や関係機関にアンケートを配布し、回答を基に今後の方向性を決めていく。
ヤングケアラー・コーディネーター	相談・問い合わせ	随時	50人	・前年度より引き続き対応30ケース含む
	訪問面談	随時	70回	・学校訪問14回(広報含む) ・子ども家庭支援センターすこやかなど関係機関にて面談16回 ・自宅訪問39回 ・同行1回
	普及啓発	随時	延べ1,588人	・高齢、障害、医療、児童、地区協議会など関係機関へのチラシ、普及啓発品など配布 ・関係機関向け研修「ヤングケアラーについて考える」

				令和6年7月19日（金） 参加者65名 ・市民向けヤングケアラー講座「ヤングケアラーって？私たちにできることは何だろうか？」 令和7年1月18日（土） 参加者31人
--	--	--	--	--

（３）フォーマルサービスの充実

ア 調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業

重点項目	項 目	目標値 令和６年度	実績
◎	総合事業通所型サービス（市基準）の稼働率	60.0%	54.5%
◎	バスストップの拡充（市基準）	3か所	1か所
◎	認知症デイ（国領）の稼働率	69.0%	52.0
－	ボランティア数（延べ人数）	300人	297人
評価等	○個々の認知症状に対応できるよう，検討しながらサービス提供することができましたが，対応が難しいケースもありました。 ○市基準について，週２回の利用の受入れを積極的に行いました。午後枠も一部開所し，バスストップ型も新規開始しております。 ○年に２回計画した家族会を予定通り実施することができ，家族介護者の苦労や悩みに寄り添い，また，サービスの質の向上にも努めました。		

令和６年４月以降，一般型通所介護事業と総合事業（国基準）を休止し，総合事業（市基準）と認知症対応型通所介護の２事業に集約しました。一般型通所介護休止においては，混乱なく事業を休止することができました。

総合事業（市基準）については，平日全ての曜日で事業を実施し，午後も一部開所しています。バスストップ型を地域包括支援センターと連携し，多摩川住宅方面に１か所ルートを設定しました。今後もバスストップ型を希望される方がいる場合には都度調整していきたいと考えています。また，プログラムについては長年１つのプログラムで身体機能訓練していたものが２種類となり，交互に実施することで，より広範囲にトレーニングができるようになりました。

認知症対応型通所介護については，引き続き，一般のデイサービスで受け入れが困難な個別対応が必要なケースを引き受けつつ，ご家族の支援も考慮しながら（年２回家族会実施）事業を実施しました。認知症に伴う周辺症状（ＢＰＳＤ）には専門的なアプローチができるように検討の機会を設けて対応しています。

区分		令和6年度	令和5年度
総合事業（市基準）	延べ人数	1,670人	1,181人
	1日平均	8.3人	7.8人
認知症対応型通所介護	延べ人数	1,923人	1,865人
	1日平均	6.3人	6.1人

（a）運営推進会議

情報の公開、及び地域との連携・交流の場を確保するとともに、サービスの質の維持・向上を図るため、利用者の家族や地域住民の代表者、またサービスに知見を有する方に委員として参加していただき、対面式で2回開催しました。

開催日
第1回：令和6年 7月24日(水)
第2回：令和7年 2月25日(火)

（b）家族会

対面式で2回開催しました。具体的な相談内容に対し、介護の成功体験を交えた実践方法を伝授するなど、介護者同士が安心して気持ちを吐露する場の提供ができました。また、介護に関する共通の課題や悩みを共有することもできました。

開催日	参加者数
第1回：令和6年 10月19日(土)	3人
第2回：令和7年 2月15日(土)	3人

（c）地域福祉交流育成

中学生職場体験と教員免許法における介護等体験事業の受入れも継続し、新しい広報媒体との協同も一部できましたが、対象者が東京都と広範囲の為、参加の部分では課題を感じています。

今後も地域とのつながりを大切にした開かれた施設を目指します。

区分		令和6年度	令和5年度
ボランティア受入れ	個人	延べ258人	延べ355人
	団体(人数)	7団体(39人)	15団体(71人)
ボランティア交流会	実施回数	1回	0回
	参加者数	延べ6人	延べ0人
職場体験・介護等体験受入れ※	受入者数	9人	9人
	期間	10日間	27日間

※調布市社会福祉協議会のサマーボランティア含む

イ 調布市入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぽあん事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	認知症デイ（入間町）の稼働率	68.0%	62.2%
－	地域開放支援事業	12回	7回
評価等	○個々の認知症状に沿った対応を心がけるように支援しました。 ○家族介護者支援として、認知症介護への理解を得たり、サポートが必要な家族について関係部署とも連携して対応しました。 ○バザーを再開し、地域に開かれた施設づくりに努めました。		

令和6年度からの調布市の委託事業移行に伴い、事業全体を調布市国領高齢者在宅サービスセンター事業と一体で運営する中で、認知症が進行し、他の事業所では受入れが難しい方への対応等の課題に向けても工夫を図りました。

土曜日も開所することで稼働率は低下しましたが、徐々に受入れ枠を増やしつつあるので、引き続きご利用者、ご家族、関係者に必要とされる施設を目指します。

区分		令和6年度	令和5年度
認知症対応型通所介護	延べ人数	2,275人	1,993人
	1日平均	7.5人	7.8人

※1日平均は、令和6年度は土曜開所の為、週6日で計算（昨年までは週5日で計算）

(a) 運営推進会議

サービスの質の確保と向上を図り、地域との連携と交流を確保するために、利用者の家族や地域の代表者、またサービスに関し知見を有する方を委員に選任し、会議を開催しました。

開催日
① 令和6年6月26日(水), ②令和6年11月27日(水)

(b) 家族会

開催日	参加者数
① 令和6年5月14日(火), ②令和6年12月18日(水)	① 3人, ②4人

(c) 地域開放支援事業

区分		令和6年度	令和5年度
ボランティア受入れ	活動者数	延べ292人	延べ344人

地域交流会支援 (A)	実施回数	1回	1回
	参加者数	20人	13人
施設貸出 (B)	貸出回数	6回	12回
	参加者数	33人	209人
施設開放 (A) + (B)	貸出回数	7回	13回
	参加者数	53人	222人

ウ 調布市地域包括支援センターゆうあい事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	介護予防関連事業参加者数 (出前講座, 介護教室)	150人	461人
◎	地域ケア会議参加者延べ人数	90人	134人
◎	みまもっとPR活動件数	250件	269件
評価等	○介護予防関連事業については、圏域内高齢者の困りごとが複雑化、深刻化して解決困難な状況になっている事例が増えてきております。早期に発見でき、多様な方とのネットワークで支援が展開できるよう啓蒙啓発の促進がこれからも必要です。 ○地域ケア会議では、地域課題を分析し、福祉圏域で活躍される専門職、非専門職等関係者と共に課題解決に向けて協働できるよう、有用な対話ができる場を大切にして実施することができました。 ○みまもっとPR活動については、地域包括ケアシステムの深化・推進を意識して連携先を広げており、地域包括支援センターの役割の理解促進について出前講座等で実践しました。		

包括ゆうあいでは、他団体等が開催している地域の会議やイベントに参加し、あるいは主体となり会議、イベントを開催し、地域包括支援センターの役割の理解促進を行いました。

また、相談件数も多く、その内容も経済不安や家族関係の希薄化など世代を超えて課題を有する内容等、複雑化している傾向もうかがえます。従って、医療機関や関係機関との密な連携が不可欠で、日頃から顔の見える関係性を築き、維持するよう努めました。

(a) 総合相談事業

区分	令和6年度	令和5年度
相談件数	10,733件	9,437件
実態把握人数	896件	865件

(b) 介護予防

圏域内に後期高齢者数が増加することで、突然医療との関係が途絶える方や外出等の機会が大きく減り、フレイルの進行が懸念される方などが増加しました。孤立防止の視点から、積極的に集い場の立ち上げや活動の継続について支援しました。そうした関わりを通して、地域の健康課題等について、地域の専門職と意見交換を行いました。

区分		実施日・回数等	参加者数
介護教室	「転ばないための環境づくりと生活の工夫」	令和6年6月21日(金)	23人
	「運動を取り入れて転ばない身体を作ろう」	令和6年6月28日(金)	21人

(c) 介護予防マネジメント

区分	令和6年度	令和5年度
介護予防ケアプラン作成件数	2,727件	2,440件
介護予防ケアプラン委託件数	997件	1,007件

(d) 権利擁護

令和6年度は、出前講座で市民向けに終活および詐欺被害防止の学習会を開催したほか、介護支援専門員向けに地域包括支援センター権利擁護担当が普及啓発を行いました。

区分	令和6年度	令和5年度
虐待予防相談	99件	107件
成年後見制度の活用推進、消費者被害の防止等の相談	118件	149件

(e) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域の介護支援専門員（ケアマネジャー）の学習と連携の機会を提供するために、年2回のケアマネット（勉強会）と原則毎月1回の事例検討会を開催しました。

区分	内容		
ケアマネジャー支援	適正なケアマネジメントのための支援：71件		
ケアマネット・事例検討会	「障がいに合わせてコミュニケーション～具体的な事例で学ぼう～」	令和6年6月27日(木)	36人

	「アセスメントを学ぼう ～アローチャートを使っ て～」	令和7年1月23日(木)	16人
	事例検討会(勉強会)	令和6年4月25日(木)参加者11人 令和6年5月23日(木)参加者5人 令和6年7月25日(木)参加者0人 令和6年9月26日(木)参加者5人 令和6年10月24日(木)参加者6人 令和6年11月28日(木)参加者5人 令和7年3月27日(木)参加者8人	計40人
地域ケア会議	「在宅生活を支える多 様な社会資源～ケアマ ネジメントの在り方～」	令和6年4月25日(木)	49人
	「今だから考えよう、こ の地域の防災スタイル」	令和6年10月30日(水)	43人
	「事例から学ぶ書類管 理について」	令和7年1月31日(金)	42人
地域ケア会議 (関係者会 議)	担当者が集まって個別事例の課題把握や処遇検討を行う：5件		

(f) 認知症対策

学童(児童館)及び小学校の朝の読み聞かせの時間を活用し、「高齢者の世界を知る(認知症理解促進)」について出前講座等を実施しました。

区分	内容
認知症相談	認知症にまつわる相談：181件
認知症サポ ーター養成 講座	※認知症理解促進の講座は実施 国領児童館 調布ヶ丘児童館 第二小学校 2年生・4年生

(g) 見守りネットワーク事業

実績は、通報件数・PR件数ともに増加しており、ソフトな見守り、緩やかな働きかけの実践が広がっています。「見守り」の理解促進のための普及啓発についても、出前講座で取り組むことが多くありました。

区分	令和6年度	令和5年度
通報件数	117件	104件

P R 件数	269件	251件
--------	------	------

(h) 地域ネットワーク構築

地域のネットワークを構築するために、Aゾーン会議を開催しました。

区分		実施日・回数等	参加者数他
広報協力員 研修，連絡 調整会	連絡会・研修会	連絡会 令和6年5月30日（木） 研修会 令和6年9月27日（金） にじいろハート見学	連絡会 8人 研修会 6人
	P R 訪問 市の世帯状況調査で訪 問を希望した高齢者に 広報協力員が訪問し，市 の施策や事業等の紹介	※R6年度，資料提供，資料送 付に変更	新規訪問 0件
		※R6年度，電話	継続訪問 0件
	民生児童委員と広報協 力員連絡会	令和6年5月30日（木）	20人
地域ネット ワークづく りのための 会議	地域支援推進員等との連絡会		6回
	Aゾーン会議（地域課題 解決会議）	① ネットワーク構築会議 令和6年8月29日（木） ② 随時会議 ※個別事例の地域ケア会議 としてもカウント	①35人 ②0回

(i) 出前講座

区分	実施日・回数等	参加者数
「相談会」（マンション国領）	令和6年4月20日（土）	7人
「身体状況に合わせた靴の選び方」（マンション国領）	令和6年6月15日（土）	9人
「初夏のつどい～介護予防10筋～」	令和6年6月18日（火）	14人
「柔道整復師による身体のメンテナンス」（マンション国領）	令和6年7月20日（土）	11人
「介護保険について」	令和6年7月23日（火）	15人
「高齢者の世界を知る」（国領児童館）	令和6年8月19日（月）	23人

「高齢者の世界を知る」(調布ヶ丘児童館)	令和6年8月21日(水)	65人
「介護保険制度について」	令和6年9月5日(木)	14人
「食べる力を維持して安全に食べ続けよう！」(マンション国領)	令和6年9月21日(土)	8人
「秋のつどい～口腔の健康～」	令和6年10月8日(火)	17人
「高齢者の世界を知る」(第二小学校4年生)	令和6年10月9日(水)	26人
「身体を知ってフレイル予防」	令和6年10月16日(水)	19人
「高血圧症～なぜ血圧を管理する必要があるのか？～」(マンション国領)	令和6年10月19日(土)	8人
「終活～もしばなとじぶんノート～」	令和6年10月23日(水)	12人
「高齢者の世界を知る」(第二小学校2年生)	令和6年11月13日(水)	29人
「歩行測定」(マンション国領)	令和6年11月16日(土)	12人
「吹き戻しを使って楽しく筋トレしよう」	令和6年11月19日(火)	25人
「消費者被害について」	令和6年11月21日(木)	9人
「測定会・介護保険について」	令和6年12月18日(水)	8人
「連携や情報共有の向上」	令和6年12月25日(水)	30人
「子供の薬・妊娠授乳中の節について、皆さんに知っていただきたいこと」(マンション国領)	令和7年1月18日(土)	6人
「介護保険制度についてパート2」	令和7年2月6日(木)	9人
「在宅避難のススメ」(マンション国領)	令和7年2月15日(土)	16人
「高齢者は多様な社会資源に見守られる」	令和7年2月26日(水)	10人

「介護保険制度について」	令和7年3月15日(土)	9人
「見守りの大切さ～食事の配達と安否確認～」	令和7年3月18日(火)	6人
「10の筋力トレーニング体験会」	令和6年12月3日(火) 令和6年12月17日(火)	19人
「10の筋力トレーニング立ち上げ支援」	令和7年1月17日(金) 令和7年1月24日(金) 令和7年1月31日(金) 令和7年2月7日(金) 令和7年2月14日(金) 令和7年2月21日(金) 令和7年2月28日(金)	40人
「10の筋力トレーニング継続支援」	令和6年4月10日(水) 令和6年4月24日(水) 令和6年5月8日(水) 令和6年5月22日(水) 令和6年6月12日(水) 令和6年7月10日(水) 令和6年8月28日(水) 令和6年9月11日(水) 令和6年10月9日(水) 令和6年11月13日(水) 令和6年12月11日(水) 令和7年1月8日(水) 令和7年2月12日(水) 令和7年3月7日(金) 令和7年3月12日(水) 令和7年3月14日(金) 令和7年3月28日(金)	109人

(j) 一般施策判定業務

区分	令和6年度	令和5年度
判定数	243件	342件

(k) 介護保険要介護認定調査

区分	令和6年度	令和5年度
認定調査件数	13件	13件

(4) 介護保険事業（自主事業）による自立支援の推進

ア 訪問介護事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	職務限定職員の人数	2人	2人
◎	介護技術勉強会（介護職カフェ） 開催回数	4回	4回
◎	利用件数 ※訪問介護・軽度生活援助・子育て世帯支援事業等の合計	12,500件	12,567件
評価等	○法令を遵守し、利用者に寄り添い、その有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるよう支援を行いました。 ○働きやすい職場環境や雇用形態・研修体制を整備し、職務限定職員を1名任用しました。また、介護職員等処遇改善加算Ⅰを取得しました。		

(a) 訪問介護事業

利用者が、本人の有する能力を活かし、自立した日常生活が営めるように本人主体のサービス提供に努めました。

職員の確保が難しいなかで、職務限定の正社員制度を活用し1人の職員を任用しました。併せて生産性向上のための職場環境改善の取り組みを行いました。また、定例の研修会を年に12回開催し、資質の向上や人材育成に向け、幅広く福祉の知見について学ぶ機会を提供しました。

結果として、介護職員等処遇改善加算Ⅰを算定することが出来、職員の賃金アップが叶いました。

令和5年度は、職員が確保できずに一度休止をした障害福祉居宅介護を令和6年度に再開しました。また、医療ニーズが高い利用者の在宅生活を支援する目的で喀痰吸引事業者登録を終え、実際にサービス提供を行いました。

調布市福祉人材育成センターが実施している介護職員初任者研修に、職員を講師として派遣し、調布市の福祉人材育成の一助を担いましたが、受講者数は年々減っているのが現状です。

(b) 総合事業訪問型サービス

需要は年々増えており、積極的に依頼を受け、ヘルパーを派遣しました。利用者の有する能力に応じた自立支援を実施しています。

区分	利用者数（上：延べ人数，下：％）								訪問時間数 訪問回数
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	
令和6年度	163	173	273	406	165	93	71	1,344	1,0311.8時間
	12.1	12.9	20.3	30.2	12.3	6.9	5.3	100.0	12,502回
令和5年度	149	183	211	377	143	118	73	1,254	10,135時間

	11.9	14.5	16.8	30.1	11.4	9.4	5.8	100.0	12,336回
--	------	------	------	------	------	-----	-----	-------	---------

(c) 軽度生活援助事業（見守り）

認知症の高齢者等に対し、自立した生活を維持・継続するため、介護保険制度では担う事が出来ない見守り等の支援を行っています。併せて、家族の負担軽減や虐待防止を目的としたサービスを提供しています。

令和6年度は介護保険制度から逸する支援の依頼はなく実績はありませんでした。また、軽度生活援助事業の概要があまり公に周知されていないことも実績がない理由の一つです。

区分		利用者延べ数	サービス提供 延べ回数	サービス提供 延べ時間数
軽度生活援助（見守り）	令和6年度	0人	0回	0時間
	令和5年度	25人	154回	154時間

(d) 子育て世帯支援事業訪問支援員派遣事業

令和6年度から養育訪問支援事業から子育て世帯支援事業という名称に変更となりました。対象家庭を訪問し、各家庭の状況に合わせた内容を包括的に行います。ヤングケアラーに代わり家事支援を行い、生活負担の軽減に助力しました。

区分		利用者延べ数	サービス提供 延べ回数	サービス提供 延べ時間数
子育て世帯支援事業 訪問支援員 派遣事業	令和6年度	18人	65回	126時間
	令和5年度	8人	31回	49時間

(※) 令和6年4月より事業名が変更となりました。

(e) 定期研修

区分	回数	参加者数
定期研修	年12回	延べ193人

(f) 介護職カフェ（介護技術勉強会）

介護職員同士の情報交換や、交流の場としても活用されました。

区分	実施日	参加者数
介護職カフェ（介護技術勉強会）（再掲）	令和6年6月25日（火） 令和6年8月27日（火） 令和6年11月26日（火） 令和7年2月25日（火）	延41人 延11事業所

イ 居宅介護支援事業／介護保険要介護認定調査事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	ケアプラン作成数	1, 4 6 0 件	1, 5 8 3 件
評価等	○ケアプラン作成数 地域包括支援センターからご紹介をいただき、目標を達成することが出来ました。より多くの方のケアプラン作成依頼を受けるにあたり、業務効率化が課題となりました。		

(a) 居宅介護支援、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

法令順守に基づいたケアプランの作成をするとともに、住み慣れた地域で利用者が「望む暮らし」を実現することを目指し、公的制度の利用や多職種との連携を図りながら、地域資源を活用したケアマネジメントを行いました。

限られた職員体制の中で、より多くの方にケアプラン作成ができるよう、業務効率化を進めました。

(上：延べ利用者数，下：%)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
令和6年度	11	100	467	469	227	205	104	1, 583
	0.7	6.3	29.5	29.6	14.3	13.0	6.6	100.0
令和5年度	12	16	323	272	168	194	102	1, 087
	1.1	1.5	29.7	25.0	15.5	17.8	9.4	100.0

(b) 介護保険要介護認定調査事業

区分	令和6年度	令和5年度
認定調査件数	0件	1件

(5) 公益法人として先駆的な役割を果たすための事業の推進

ア 普及啓発事業／人材育成事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
—	福祉講演会の参加者率	会場定員 70%以上	75%
—	協力会員・登録ボランティア説明会 延べ参加者数	60人	85人
—	出張説明会	10回	11回

—	協力会員研修延べ参加人数(市民公開講座に参加した市民を含む)	200人	224人
—	ゆうあい福祉セミナーの参加人数	40人	45人
—	介護職カフェ(介護技術勉強会)の開催回数(再掲)	年4回以上	延41人 延11事業所
評価等	○地域の集いの場等に出向き協力会員募集の説明会を開催しました。 ○オンラインや土日に協力会員募集説明会を開催し、幅広い世代の協力会員の募集に向けた普及活動を行いました。 ○チラシ・ポスターの掲示・設置に協力可能な商業施設等の場所のリスト化を継続するとともに、協力会員の活動の様子を掲載した広報紙を全戸配布し広報活動を行いました。 ○介護・福祉等関心の高いテーマについて市民向けの研修を検討・開催しました。希望者には協力会員の登録につなげました。 ○協力会員に求められるスキルに対応した研修や協力会員のニーズに沿った研修を企画・開催しました。 ○市民、協力会員等の多くの方が興味を持って参加できる活動を検討し、実施しました。		

公社の住民参加型サービスの活用を促進するために、令和6年度は広報紙ゆうあいに本事業に関する特集記事を載せて、全戸配布しました。また、ひだまりサロンや自治会、民生児童委員協議会等にも出向き、住民参加型事業に関する普及啓発に努めました。

令和6年度は、昨年度同様調布市の協力で、市と相互友好協力協定を結ぶ大学にも広報を働きかけました。その結果、大学生の協力会員も増えてきています。

【普及啓発事業】

事業名		実施回数	参加者数	備考
福祉講演会	市民相互の支え合いとあたたかい地域づくりを目指し、地域福祉・ボランティア活動の啓発	年1回	98人	令和6年11月9日(土)に開催しました。講演会テーマ「生きがいを持って住民同士で助け合えるまちへ」
広報	機関紙「ゆうあいほっとらいん」	年6回	—	2,500部／回

	広報紙「ゆうあい」	年2回	—	13万部／回 (内12万8,000部を市内全域にポスティング, 2,000部を関係機関に配架等)
	ホームページ	随時更新	—	イベント情報を随時更新
	S N S (ソーシャルネットワークワーキングサービス)	随時更新	—	フェイスブック, 協力会員向け公式 L I N E による情報提供
出張説明会		年10回	230人	民生委員地区協議会や地域のイベントなどで事業説明
協力会員・登録ボランティア説明会		年62回	延べ85人	「ちょこっとさん」登録ボランティア説明会と共催
調布市食事サービス連絡会	市内配食事業者との連絡会において, 情報・課題の共有, 課題解決への検討	年1回	3事業所より 6人参加	テーマ「配達時の困難事例について」 包括ゆうあい職員より「見守りの大切さ～食事配達と安否確認について～」
ケアラー (介護者) 支援事業 (再掲)	だれでもカフェ (認知症カフェ)	月1回 (計12回)	延べ243人	・だれでもカフェこくりょう (毎月第4日曜日) ※ボランティアによる演奏会外部研修のPR ・だれでもカフェぷちぽあん 荒天で中止
	ケアラー支援マップ (再掲)	年1回	—	・令和7年2月5日 (水) 広報紙ゆうあい29号にて第13版を掲載。ケアラーを支えるグループ18件, 相談窓口, 市内の居場所等の情報を掲載

	ケアラー向け介護技術講座	年4回	165人	・「介護がタニンゴトからジブンゴトになる5つのポイント」開催 令和6年6月19日（水） 参加者24人 ・「体感して学ぶ介護のコツ」開催 令和6年12月22日（日） 参加者7人 ・飛田給地区協議会防災訓練 令和7年3月2日（日） 参加者90人 ・初めて学ぶ自己肯定感 令和7年3月11日（火） 参加者44人
	ホームヘルパー出張派遣(再掲)	随時	相談1件 派遣1件	・ケアマネジャーからの相談に対して状況を確認し、迅速に派遣しました。
ヤングケアラー・コーディネーター（再掲）	相談・問い合わせ	随時	50人	・前年度より引き続き対応30ケース含む
	訪問面談	随時	70回	・学校訪問14回（広報含む） ・子ども家庭支援センターすこやかなど関係機関にて面談16回 ・自宅訪問39回 ・同行1回
	普及啓発	随時	延べ1,588人	・高齢，障害，医療，児童，地区協議会など関係機関へのチラシ，普及啓発品など配布 ・関係機関向け研修「ヤングケアラーについて考える」 令和6年7月19（金） 参加者65名

				・市民向けヤングケアラー講座「ヤングケアラーって？私たちにできることは何だろうか？」 令和7年1月18日（土） 参加者31人
ケアラーサポートブック（再掲）		年1回	発行2,000部	調布市歯科医師会所属の歯科医院や民生委員に配布し啓発を図る。 令和7年度更新に向け、検討委員会を立ち上げた。 ケアラー支援団体や関係機関にアンケートを配布し、回答を基に今後の方向性を決めていく。

【人材育成事業】

市民向け講座ゆうあい福祉セミナーでは、「発達しょうがい」をテーマに取り上げ、地域における孤独・孤立の課題への対応の一つとして、発達しょうがいの特性を知る機会を設けました。

公社の理念である「市民相互の助け合い」と「自立支援のための質の高いサービスの提供を通じてあたたかい地域づくり」を推進するために、地域のボランティアから大学で福祉について学ぶ学生や、現に福祉の現場で働く専門職まで、幅広く福祉人材の育成を支援しました。

公社の特性は、地域包括支援センター事業を初めとしたフォーマルサービスと、住民参加型事業に代表されるインフォーマルサービスを併せ持つ点にあり、介護保険事業全般について情報提供のできる機関です。それを踏まえ、今後も積極的に、地域での勉強会や講習会を企画するとともに、職員を講師として派遣するなど調布市の福祉人材の育成に努めます。

事業名及び内容		実施日又は回数	参加者数
ゆうあい福祉セミナー	発達しょうがいのことを知ろう	令和7年1月25日（土）	45人
実習生の受入れ	大学、専門学校等から社会福祉援助技術や教員免許取得等の実習	99日	20人

福祉専門職講師派遣		地域の福祉人材育成を支援するため公社職員を派遣		77時間	延べ23人
協力会員研修・登録ボランティア研修	定例会	協力会員の交流を深めるとともに地域づくりの一員としての役割を学ぶ		3回	延べ32人
	基礎研修	協力会員登録時に活動のための基礎を学ぶ		66回	延べ65人
	食事サービス	新人研修	調理実地研修	随時	8人
			配達実地研修	随時	13人
		スキルアップ研修	食品衛生講習会	1回	31人(補講含む)
			調理実習	1回	20人
			安全運転講習	1回	45人(補講含む)
	ホームヘルプサービス	スキルアップ研修	車いすの介助方法の講習	2回	10人
介護予防サロン		高齢者でも参加できる社会参加の機会提供、介護予防・地域づくりに向けた支援	グリーンクラブ	月2回	延べ44人
			おなかまクラブ	月1回	延べ64人
			菊1丁目ランチの会	月1回	延べ39人
			スマホ使い方相談会	9回	延べ26人
認知症サポーター事業(再掲)		認知症サポーター養成講座		60回	1,458人

	認知症サポーターステップアップ講座	2回	85人
	認知症サポーターの活躍の場リスト	1回	—
介護職カフェ（介護技術勉強会）（再掲）	市内サービス提供事業者向けに開催し、介護技術の向上やサービス事業者間のネットワーク構築を図る	4回 令和6年6月25日（火） 令和6年8月27日（火） 令和6年11月26日（火） 令和7年2月25日（火）	延41人 延11事業所

イ 調査研究開発事業

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
—	調査実施数（内部調査、実証研究調査、新規・改善事業調査）	1回	1回
評価等	職場環境の改善に向けて取り組むべき課題について、職員から意見を集約しました。		

取組	内容
実践活動報告	内部調査の位置づけとして、職場環境改善に向けた社内調査を行いました。実証研究調査や新規・改善事業調査の実施、実績はありませんでした。
関係協議会等への参加	調布市内・外の医療・福祉・介護に関する31の協議会等に参画しました。

（6）健全な公社運営

ア 法人運営及び組織体制の強化・充実

公社の事業継続計画（BCP）に関して、全体研修と全体訓練を実施し、計画の周知と共有化を図りました。

半日休暇制度の周知を図り、職員の休暇取得を促進しました。

職員の育成について、資格取得等に係る費用補助を拡充するなど、職員の自己研鑽や資格取得の支援に取り組みました。

職員の欠員補充について、令和5年末から令和6年初めにかけて複数の正規職員が退職したことで欠員の状況が続きましたが、採用活動の拡充により年度後半期には充足の目途が立ちました。介護職員の確保については、引き続き喫緊の課題となっています。

重点項目	項 目	目標値 令和6年度	実績
◎	研修受講率	55%	71%
◎	年次有給休暇の取得率	75%	71%
◎	全職員の所定外労働時間数	5,500時間	4,985時間
評価等	○職員会議や衛生委員会等で、課題を共有し、職員の意識・行動の変化につながるよう働きかける。		

区分	内容
P D C Aマネジメントサイクル構築	・モニタリングシートを作成し、活用することで、事業の進捗状況や実績等の状況を適宜確認しました。
制度改正などへの対応・検討	・10月東京都最低賃金改定(1,163円)の対応を実施しました。 ・介護職員等処遇改善加算や東京都居住支援特別手当等制度活用を積極的に行いました。
労務管理体制の強化	・毎月、衛生委員会を実施しました。 ・入社事務手続きについて、デジタル化を図りました。
専門資格の取得の促進	・職員研修に関する取扱い基準を見直し、自主研修制度（自己研鑽・資格取得等）の拡充に取り組みました。
将来を担える職員の育成	・正規職員、限定職員の人事評価面談(6月期首、3月期末)を実施しました。 ・職場環境の改善に向けて、資質向上やキャリアアップに向けた支援、やりがい・働きがいの醸成等について、職員から意見を集約しました。
I Tシステム活用による業務効率化	・勤怠システムを改修し、半日休暇の取得促進を図りました。 ・公社のホームページを全面リニューアルし、内容の充実を図るとともに、コンテンツ管理システム(CMS)を導入しました。

危機管理（リスクマネジメント）の強化	・令和6年7月3日（水）調布市の災害時における協定関係機関との意見交換会に参加しました。 ・令和6年8月21日（水）BCP（事業継続計画）全体研修を実施しました。 ・令和6年9月8日（日）国領地区協議会主催防災訓練に参加しました。 ・令和6年9月9日（月）BCP（事業継続計画）全体訓練を実施しました。 ・1月の第3回定時理事会において、「上半期苦情解決状況」「上半期事故報告」を報告しました。
会員・ボランティア基盤の拡充	・市内郵便局やボランティアコーナー（7か所）、自治会各地の掲示板などに協力会員募集のチラシ配架、ポスター掲示を依頼・実施しました。 ・調布Facebook交流会に有償ボランティアの募集案内（登録者8,000人）を掲載しました。（随時） ・調布市公式LINEにて有償ボランティアの募集案内（登録者30,000人）を掲載しました。（随時） ・地域参加のトビラ（東京ホームタウンプロジェクト）の活動募集案内（閲覧数1,156人）に掲載しました。 ・杏林大学，電気通信大学，白百合女子大学に協力会員登録説明会の案内を送付しました。（継続） ・調布FMへの出演や市内の地域イベントに参加し有償ボランティアの募集案内を行いました。 ・ホームページに協力会員募集のバナーを掲載しました。（継続） ・令和6年10月5日（土）広報紙ゆうあい28号発行（131,000部），公社のケアラー支援の取組を掲載，賛助会員（振込用紙付）募集を並行して実施しました。 ・ゆうあい公式LINEにて協力会員向けの情報発信活動を行いました。（継続）

イ 自主的、自立的経営に向けた財政基盤の強化

居宅介護支援事業では、前半期に管理者の交代がありましたが、後半期には体制も安定し、目標としていた月間130件を達成しました。収支は改善傾向にあるものの、単体でのプラス収支には至りませんでした。

訪問介護事業では、処遇改善加算Ⅰを取得し、また、職務限定職員1人を任用するなど、経営の安定に取り組みました。

自主事業においては、近年の収支状況が安定してきていることから、期末特別賞与（業績連動）等の支給を行い、職員への利益還元を行いました。結果として自主2事業合計の収支は、プラスとなりました。

賛助会員については、広報紙ゆうあいで会員募集等、積極的な広報活動に取り組むことで、若干ではありますが増加しました。

重点項目	項目	目標値 令和6年度	実績
◎	賛助会員数	290人	325人
◎	寄附額	300,000円	369,238円
◎	自主事業の収支（2事業合計）	収支均衡（±0）	225万円余
評価等	○賛助会員数については、令和5年度と同様に、全戸配布の広報紙に振込用紙を掲載して会員拡大を図りました。 ○自主事業の収支については、居宅介護支援事業ではマイナスでしたが、特定事業所加算の体制維持と件数管理に取り組みました。訪問介護事業でも目標件数を掲げながら件数管理を行いプラスとなりました。		

区分	内容
モニタリングシートの活用	モニタリングシートを月次で作成し、経営状況の把握と評価を継続しました。
寄附金収入の拡充	公社のWebページのリニューアルにあわせて、Web上で寄附を募る手法について情報収集を進め、寄附募集のページ作成に取り組みました。
賛助会員の拡充	・7月に157名の賛助会員に継続を依頼するとともに、公社相談事業等のサービスのチラシを送付しました。 ・広報紙ゆうあい28号にて、賛助会員募集の郵便振込用紙付きを送付し、26件の会員の獲得(109,000円)につなりました。

4 その他の報告事項

(1) 役員等及び会議に関する事項

ア 役員等名簿（令和7年3月31日現在）

(a) 理事・監事

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	田口 学	理事	荒井 敏	理事	三浦 詩子
副理事長	橋本 郁子	理事	涌田 俊幸	監事	高橋 進
常務理事	塚本 栄	理事	黒部 光夫	監事	立崎 美香子

(b) 評議員

氏名	氏名	氏名	氏名
八田 主税	宇治 和子	古屋 育子	相田 光一
荻本 剛一	田中 晶子	荻本 末子	八角 千里

イ 会議の開催

(a) 理事会

開催年月日	件名	結果
令和6年4月30日 (第1回定時)	・専決処分の承認について（指定介護予防支援事業所運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（居宅介護支援事業（介護予防支援事業及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント事業）運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（指定居宅介護事業所運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（指定訪問介護事業所運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（調布市国領高齢者在宅サービスセンター（通所介護及び調布市介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス））運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（調布市国領高齢者在宅サービスセンター（介護予防）認知症対応型通所介護運営規程の改正）	承認
	・専決処分の承認について（調布市入間町地域密着型認知症デイサービスぷちぽあん（介護予防）認知症対応型通所介護運営規程の制定及び旧規程の廃止）	承認
	・専決処分の承認について（介護職員処遇改善支援補助金に関する取扱規程の制定）	承認
	・介護職員等処遇改善加算に関する取扱規程の制定（案）に	承認

	・専決処分の承認について（職務限定職員給与規程の改正） ・専決処分の承認について（嘱託職員等就業規則の改正） ・専決処分の承認について（ホームヘルパー就業規則の改正） ・嘱託職員等就業規則の改正（案）について ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について ・家事援助ヘルパー就業規則の改正（案）について ・令和6年度第1回臨時評議員会の招集について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 報告
令和7年1月24日 （第3回定時）	・専決処分の承認について（介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当に関する取扱規程の制定） ・専決処分の承認について（職務限定職員給与規程の改正） ・専決処分の承認について（嘱託職員等就業規則の改正） ・専決処分の承認について（ホームヘルパー就業規則の改正） ・専決処分の承認について（給与規程の改正） ・専決処分の承認について（令和6年度収支補正予算第1号） ・専決処分の承認について（令和6年度収支補正予算第2号） ・専決処分の承認について（令和6年度収支補正予算第3号） ・専決処分の承認について（令和6年度収支補正予算第4号） ・令和6年度第2回臨時評議員会の招集について ・理事長及び常務理事の職務の執行状況について ・令和6年度上半期苦情解決状況について ・令和6年度上半期事故報告について ・令和7年度事業計画（素案）について ・令和7年度収支予算（素案）について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 可決 報告 報告 報告 報告 報告
令和7年3月7日 （第4回定時）	・専決処分の承認について（令和6年度収支補正予算第5号） ・職員就業規則の改正（案）について ・職務限定職員就業規則の改正（案）について ・嘱託職員等就業規則の改正（案）について ・ホームヘルパー就業規則の改正（案）について ・家事援助ヘルパー就業規則の改正（案）について ・職員の育児休業等に関する規程の改正（案）について ・職員の介護休業等に関する規程の改正（案）について ・給与規程の改正（案）について ・介護職員・介護支援専門員居住支援特別手当に関する取扱規程の改正（案）について ・令和7年度事業計画（案）について ・令和7年度収支予算（案）について ・令和6年度決算見込（自主事業）について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 報告

※「承認」は専決処分に係る案件

(b) 評議員会

開催年月日	件名	結果
令和6年5月15日 (第1回定時)	・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について ・監事の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について ・評議員の選任について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
令和6年9月25日 (第1回臨時)	・理事長及び常務理事の職務の執行状況について	報告
令和7年3月21日 (第2回臨時)	・令和7年度事業計画について ・令和7年度収支予算について ・令和6年度決算見込（自主事業）について	報告 報告 報告

(2) 公社外部委員会等一覧表及び実習生受入実績

ア 公社外部委員会等一覧表

1	「調布市見守りネットワーク事業」関係団体ネットワーク会議Bゾーン
2	調布市健康危機管理対策本部連絡会
3	調布消防署住宅防火等推進協議会
4	調布市高齢者救急業務連絡協議会
5	調布地域精神保健福祉ネットワーク連絡会
6	調布市障害支援区分判定審査会
7	認知症対応型通所介護事業所連絡会
8	調布市タクシー券のあり方検討委員会
9	介護保険サービス事業者調布連絡協議会(役員会・委員)
10	調布市社会福祉協議会(評議員)
11	社会福祉法人くすのき会(評議員)
12	(第11期)調布市地域福祉推進会議
13	調布市福祉人材研修センター会議(運営委員会)

14	全国食支援活動協力会
15	調布市食事サービス連絡会
16	調布市相談支援包括化推進会議/本会
17	調布市相談支援包括化推進会議/部会
18	調布市高齢者福祉推進協議会
19	住民参加型たすけあい活動部会
20	調布市養護老人ホーム入所判定委員会
21	調布市高次脳機能障害者支援機関連絡会
22	調布市在宅療養推進会議
23	地域密着型サービス運営推進会議
24	地域包括支援センター運営等協議会
25	介護保険認定審査会
26	調布市認知症連携会議
27	こくりょうみんなの広場(国領小学校地区協議会)運営委員会
28	くすのき商店会
29	東京都社会福祉協議会
30	NPO高齢者を支える学術的チームアプローチ推進ネットワーク理事会
31	社会福祉法人経営者協議会

イ 実習生受入実績(介護職員初任者研修・社会福祉士・看護師)

区分	学校名	実習名	日程	日数	人数
1 社会福祉実習	法政大学	社会福祉実習	8/5-10/17	24 日	1
	-	社会福祉援助技術現場実習	8/28, 8/29	2 日	1
	桜美林大学	社会福祉士実習	9/2-9/18	8 日	1
	法政大学	社会福祉実習	2/3-3/21	8 日	1
2 看護実習	慈恵第三看護専門学校	在宅看護論実習	6/26	1 日	2
	杏林大学	地域包括ケア実習	8/29-9/11	内 3 日	2
	東京慈恵会医科大学	地域連携実習	2/20, 2/21	2 日	2
3 介護実習	-	介護等体験	10/17-10/22	各 1 日	4
4 その他実習	調布市立第六中学校	職場体験	9/10-9/12	3 日	2

(3) 職員研修の実績

ア 業務研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修日数	参加人数	参加日数
1	R6. 5. 17	能登半島地震の経験から BCP の課題について考える	調布市医師会	調布市医師会館	1	1	1
2	R6. 5. 22	2024 年介護報酬改定 ～介護保険報酬請求時における実務上のポイントとは～	東京都社会福祉協議会	オンライン研修	1	1	1
3	R6. 5. 25	当事者から学ぶソーシャルワーク実践	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会	オンライン研修	1	1	1
4	R6. 5. 28	令和 6 年度栄養講習会 第 1 回	東京都多摩府中保健所	オンライン研修	1	1	1
5	R6. 6. 14	集団スーパービジョン研修	調布市役所 福祉健康部高齢者支援室	調布市市民プラザあくろす	1	1	1
6	R6. 6. 15	第 25 回日本認知症ケア学会大会「AI を認知症ケアに活かす」	日本認知症ケア学会	東京国際フォーラム	2	1	2

7	R6. 6. 19	重層的支援事業を考える	調布市社会福祉士会	オンライン研修	1	2	1
8	R6. 6. 22	発達障害児の支援 ～ヤングケアラーとしての障害児のきょうだい～	WAMSADD（早稲田発達障害研究会）	早稲田大学早稲田キャンパス	1	1	1
9	R6. 6. 26	NPO&施設&VC のためのビジネス基礎講座 2024	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ+オンライン	5	1	5
10	R6. 7. 5	やさしい日本語を知ろう	調布市西部公民館	調布市西部公民館	1	1	1
11	R6. 7. 8	R6 年度調布市高次脳機能障害者支援促進事業講習会 「高次脳機能障害のあるかたを支援するための基礎知識」	調布市社会福祉協議会	調布市総合福祉センター	1	1	1
12	R6. 7. 12	シニア・プレシニア世代の社会参加促進に関するコーディネーター力向上研修（基礎研修）	東京都福祉局	新宿NS ビル	1	1	1
13	R6. 7. 19	ヤングケアラー支援について考える ～家族介護の先にいるかもしれないヤングケアラー～	調布市子ども家庭生活部子ども政策課	調布市文化会館たづくり	1	2	1
14	R6. 7. 23	令和 6 年度認知症地域支援推進員新任者研修	認知症介護研究・研修東京センター	TKP ガーデンシティ	2	1	2
15	R6. 8. 26	調布市・狛江市 認知症疾患医療センター症例検討会	青木病院 慈恵第三病院	オンライン研修	1	1	1
16	R6. 8. 28	「今なぜケアラー支援なのか」～ケアラーの現状と必要な社会的支援～	東京都介護支援専門員研究協議会	オンライン研修	1	1	1
17	R6. 9. 4	住民参加型助け合い活動部会コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	飯田橋セントラルプラザ	1	1	1
18	R6. 9. 11	認知症疾患別の治療とケア	調布市医師会	調布市医師会館	1	2	1
19	R6. 9. 13	令和 6 年度区市町村職員等高齢者権利擁護研修 「擁護者による高齢者虐待対応研修」（基礎研修・第二回）	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保ビル	3	1	3
20	R6. 9. 24	令和 6 年度コミュニティにおける食支援活動から未来を探る～食と栄養・交流つながり・地域づくり～	全国食支援活動協力会	オンライン研修	1	1	1
21	R6. 9. 25	令和 6 年度区市町村介護予防事業担当者向け研修 実践編Ⅱ多様性・機能強化研修第一回	東京都健康長寿医療センター研究所	オンライン研修	1	1	1
22	R6. 9. 25	東京都地域包括支援センター職員研修現任者研修(基本科目Ⅰ・Ⅱ)	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保ビル	2	1	2
23	R6. 9. 26	令和 6 年度介護支援専門研修過程Ⅱ	総合健康推進財団	ハイレイフプラザ板橋	2	1	2
24	R6. 9. 29	普通救命講習	調布消防署警防課救急係	調布消防署	1	3	1
25	R6. 9. 30	東京都地域包括支援センター職員研修現任者研修(基本科目Ⅰ・Ⅱ)	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保ビル	1	1	1
26	R6. 10. 1	令和 6 年度 集団指導(介護保険給付係)	調布市役所 介護保険給付係	オンライン研修	1	1	1

27	R6. 10. 3	音楽レクリエーション健康講座 笑って楽しく認知症・介護予防	青木病院	青木病院	1	1	1
28	R6. 10. 5	シンポジウム 若者ケアラーの語り	ケアラーワークス	府中市市民活動センタープラッツ	1	2	1
29	R6. 10. 10	認知症介護実践者研修 第12回	東京都福祉局	オンライン研修	1	1	1
30	R6. 10. 11	住民参加型助け合い活動部会 コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	飯田橋レインボービル	1	1	1
31	R6. 10. 11	利用者さんとともに紡ぐものがたり ～真の二刀流を目指して～	楠の杜訪問看護ステーション	調布市文化会館たづくり	1	1	1
32	R6. 10. 12	令和6年度 第2期東京都介護支援専門員再研修	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保ビル+オンライン	3	1	3
33	R6. 10. 15	支えあいを広げる住民主体の生活支援フォーラム	住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 全国食支援活動協力会	オンライン研修	1	2	1
34	R6. 10. 18	多職種研修会 想いをつなぐ多職種連携 ～入退院時の連携の在り方を考える～	調布市医師会	調布市文化会館たづくり	1	1	1
35	R6. 10. 23	ヤングケアラー・コーディネーター研修	東京都	TKP 新宿カンファレンスセンターホール	1	1	1
36	R6. 11. 8	令和6年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修 「高齢者虐待防止研修」	東京都福祉保健財団	オンライン研修	1	3	1
37	R6. 11. 13	介護支援専門員調布連絡協議会 令和6年度 第2回研修会	介護支援専門員調布連絡協議会	調布市文化会館たづくり	1	1	1
38	R6. 11. 13	パーキンソン病・レビー小体型認知症 ～意思決定支援・多職種連携を学ぶ～	介護保険サービス事業者調布連絡協議会	オンライン研修	1	1	1
39	R6. 11. 18	令和6年度 第I期東京都主任介護支援専門員更新研修	東京都介護支援専門員研究協議会	ベルサール神保町アネックス	4	1	4
40	R6. 11. 19	栄養管理講習会 第七回	東京都多摩府中保健所	オンライン研修	1	1	1
41	R6. 11. 20	中堅社員パワーアップ講座〔社会人経験3～5年編〕	東京商工会議所	ステーションコンファレンス万世橋	2	1	2
42	R6. 11. 22	キャラバン・メイト養成講座	東京都福祉局	新宿NSビル	1	1	1
43	R6. 11. 26	住民参加型助け合い活動部会 コーディネーター学習会	東京都社会福祉協議会	東京都左官工業協同組合貸会議室	1	1	1
44	R6. 11. 27	栄養管理講習会 第七回	東京都多摩府中保健所	オンライン研修	1	1	1
45	R6. 11. 27	虐待研修 基礎編	調布市地域包括支援センター	調布市文化会館たづくり	1	1	1
46	R6. 12. 5	令和6年度介護サービス事業管理者等高齢者権利擁護研修 「高齢者虐待防止研修(居宅系サービス向け)」	東京都福祉保健財団	オンライン研修	1	1	1

47	R6. 12. 7	こんなサポートがあれば！合理的配慮の未来を展望する-当事者の視点から-	WAMSADD（早稲田発達障害研究会	早稲田大学早稲田キャンパス	1	1	1
48	R6. 12. 7	第 37 回 ニッセイ財団 シンポジウム 「高齢社会を共に生きる」-つなげる・支え合う居場所づくりと地域共生社会-	日本生命財団	オンライン研修	1	1	1
49	R6. 12. 8	若者支援の現場で役立つ大人の愛着障害と発達障害の理解 見立て 8 型早わかりセミナー	任意団体 ささえ	東京日本橋タワー	1	1	1
50	R6. 12. 10	介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	総合健康推進財団	ハイレイフプラザ板橋	2	1	2
51	R6. 12. 10	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 令和 6 年度中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	オンライン研修	1	1	1
52	R6. 12. 13	令和 6 年度 第 3 回東京都認定調査員現任研修	東京都福祉局	東京たま未来メッセ	1	2	1
53	R6. 12. 20	令和 6 年度 区市町村等福祉用具事業説明会	東京都福祉保健財団	新宿第一生命ビルディング	1	1	1
54	R7. 1. 7	介護報酬事務に関する研修会(実務者編)	東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会 ケアマネジャー研修委員会	オンライン研修	1	1	1
55	R7. 1. 17	特定医療法人 研精会 食支援プロジェクト イキイキわくわく学習会 高齢者の食事の考え方	特定医療法人 研精会	デンマーク INN	1	1	1
56	R7. 1. 17	認知症の周辺症状への対応 ～カンフォータブルケアを中心に～	東京都福祉局	オンライン研修	1	1	1
57	R7. 1. 23	主任介護支援専門員対象研修 「認知症世界の歩き方」	調布市役所 高齢者支援室	調布市文化会館たづくり	1	1	1
58	R7. 1. 23	令和 6 年度栄養講習会	東京都多摩府中保健所	オンライン研修	1	1	1
59	R7. 1. 27	令和 6 年度 居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修	東京都介護支援専門員研究協議会	オンライン研修	1	1	1
60	R7. 1. 29	令和 6 年度 住民参加型たすけあい活動部会 第 2 回情報交換会 「住民参加型たすけあい活動のこれまでとこれから」	東京都社会福祉協議会	オンライン研修	1	1	1
61	R7. 2. 3	第 90 回 教育講演	日本認知症ケア学会	オンライン研修	1	1	1
62	R7. 2. 12	令和 6 年度東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅱ	総合健康推進財団	ルミエール府中	2	1	2
63	R7. 2. 14	希望のリレー 国際フォーラム 2025 認知症本人の声と力、つながりを活かして、共生社会の推進を	認知症介護研究・研修東京センター	有楽町朝日ホール	1	1	1
64	R7. 2. 17	第 91 回 教育講演	日本認知症ケア学会	オンライン研修	1	1	1
65	R7. 2. 20	報連相で極めるビジネスコミュニケーション講座	東京商工会議所	アーバンネット神田カンファレンス	1	1	1

66	R7. 2. 27	令和6年度東京都介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	総合健康推進財団	ルミエール府 中	2	1	2
67	R7. 2. 27	ケアマネジャーが権利擁護に関わ るコツ ～身寄りがない方等への 支援を通じて考える～	介護支援専門員調布 連絡協議会	オンライン研 修	1	2	1
68	R7. 3. 3	第 92 回 教育講演	日本認知症ケア学会	オンライン研 修	1	1	1
69	R7. 3. 11	障害者虐待防止研修 ～福祉職の ダークサイドを考える～	調布市福祉人材セン ター	調布市こころ の健康支援セ ンター	1	1	1

イ 社内研修

No.	研修日	研修名	主催	会場	研修 日数	参加 人数	参加 日数
1	R6. 10. 17	介護の仕事を続ける人の気持ちの 作り方	登録講師派遣事業	公社	1	24	1
2	R6. 12. 19	虐待の芽を摘む！ ～小さな事が大事にならないため に～	ProfessionalWorks	公社オンライ ン研修	1	39	1

(4) 事業報告書附属明細書について
該当なし